

土砂災害ハザードマップとは

土砂災害ハザードマップは、大雨などによって、市内で想定される土砂災害、山地災害の危険区域を示したマップです。どちらも兵庫県により調査されたものに基づいて作成しています。

近年では、局地的に降る大雨により、土砂災害が全国で多発しています。土砂災害の多くは大雨によって引き起こされますが、局地的に降る大雨の事前予測は難しく、一瞬にして被害が発生してしまいます。

「もしも土砂災害が発生したら・・・」を想定し、どの程度の被害となるのか、発生しそうな時に何をすればよいのか、日頃から何に気を付けて備えておくべきなのかについて考えてみてください。

土砂災害の特徴と前兆現象

土石流



「土石流」は、大雨などをきっかけに谷底にたまった土砂や山腹から崩れ出した土砂が水と混じり合っ
て一体となり、谷を一気に流れ下りる現象です。

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）



「急傾斜地の崩壊」は、大雨などをきっかけに地面にしみ込んだ雨水により急な斜面の土砂が崩れ落ちる現象です。

土砂災害の前兆現象

右図のような前兆現象に気付いたら、すぐに安全な場所に避難し、市や警察、消防などに通報しましょう。

土砂災害の発生のおそれを知らせる「土砂災害警戒情報※」が発表されていなくても、「無駄足でも構わない」くらいの気持ちで、すぐに避難しましょう。

※土砂災害警戒情報…大雨による土砂災害発生の危険性が高まったとき、気象庁と兵庫県から共同で発表されます。この情報が発表されたときは土砂災害が非常に起こりやすい状況ですので警戒を強めてください。



特別警戒区域と警戒区域

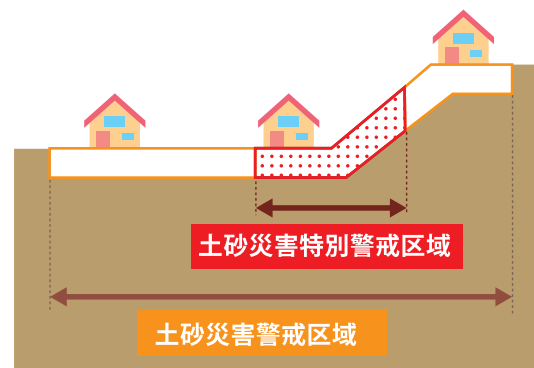
土砂災害発生のおそれがある区域は、兵庫県により指定されており、その危険度に応じて「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」に分かれています。

土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）

土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、市民などの生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制や、建築物の構造規制などが行われます。

土砂災害警戒区域（通称イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合に、市民などの生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。



※急傾斜地の崩壊のケース

山地災害について

兵庫県では地形・地質、溪流の勾配、活断層からの距離、森林の状況などの条件から、降雨や地震によって山地災害の起こりやすい地区を「山地災害危険地区」として位置づけ、独自の基準で調査した被害想定区域を加えた区域を「山地災害危険区域」としています。山地災害危険地区はその発生形態などによって次のように区分されます。

山腹崩壊危険地区

山腹の崩壊や落石により、災害が発生するおそれがある山腹斜面



特徴

- 山の斜面に亀裂やわき水がある
- 岩石がもろく崩れやすい地質である
- 過去に山崩れがあった
- 山崩れがあった場所にとり合っている
- 急斜面で、軟弱な地盤がある
- 水の集まりやすい斜面地形である
- ときどき落石がある

崩壊土砂流出危険地区

山腹の崩壊や地すべりによって発生した土砂が土石流となって流出し、災害が発生するおそれがある溪流



特徴

- 溪流の勾配が急である
- 溪流に大きな石がごろごろ堆積している
- たくさんの土砂が堆積している
- 上流が山崩れなどで荒れている
- 過去に土石流があった

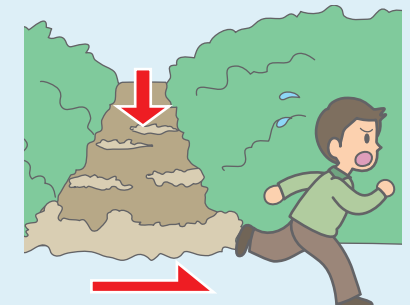
土砂災害に対する心構え

早めの避難



台風の接近など、あらかじめ災害の発生が予見できる場合は、前兆現象や避難情報の発表を待たずに、土砂災害警戒区域などから立退き、安全な場所へ避難しましょう。

土砂災害に遭遇したら



土砂災害が発生してから避難するのは困難です。事前に土砂災害警戒区域などの範囲を確認し、土砂の流れる方向に対し、直角に逃げるようにしましょう。

命を守る最低限の行動



もし立退き避難が間に合わず、土砂災害が近くで発生してしまった場合は、むやみに屋外に避難するより、建物の2階以上に避難し、安全を確保しましょう。

地震でも発生する



土砂災害は雨だけでなく、地震によって発生する場合があります。地震によって地下の深いところまで地盤がゆるむため、その後の余震や降雨でも土砂災害を引き起こす危険があります。

土砂災害ハザードマップ

土砂災害警戒区域等（土石流・急傾斜地の崩壊）：兵庫県が指定した区域に基づいて作成（令和2年4月現在）
 山腹崩壊危険区域・崩壊土砂流出危険区域：兵庫県が調査した区域に基づいて作成（令和2年4月現在）
 ※33ページ～60ページの洪水・土砂災害ハザードマップで詳細に見ることができます。

